

## ワイヤレス受信機 取扱説明書

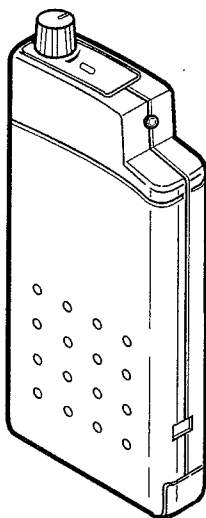
品番 **WX-R3101**

このたびは、ワイヤレス受信機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付



上手に使って上手に節電

### もくじ

はじめに .....	2
■商品概要 .....	2
■付属品をご確認ください .....	2
■別売品について .....	2
安全上のご注意 .....	2
使用上のお願い .....	3
上手にお使いいただくために .....	3
各部の名前と働き .....	4
イヤホンの取り付けかた .....	4
周波数設定のしかた .....	5
■周波数を設定する .....	5
■グループについて .....	6
■スキャン機能の使いかた .....	6
■スキャン運用例 .....	7
充電式電池・乾電池の装着のしかた .....	8
■充電式電池を装着する .....	8
■乾電池を装着する .....	8
仕様 .....	9
保証とアフターサービス .....	裏表紙

# はじめに

## ■商品概要

本機は、300 MHzワイヤレスマイクロホン WX-T3400と組み合わせて使用するワイヤレス受信機です。ポータブルタイプでありながら、内蔵アンテナとイヤホンケーブルアンテナによるダイバシティ方式を採用しています。また電源は、単4形アルカリ乾電池(2本)と充電電池パック(別売品)の2種類が使用できます。

## ■付属品をご確認ください

チャンネル設定用小型ドライバー	1	取扱説明書(本書)	1
ハンドストラップ	1	保証書	1

## ■別売品について

本機のオプション機器、消耗品キットとして、以下の別売品を用意しています。品番は、1998年2月現在のものであります。



品名	品番	備考
充電器	WX-BC600	
充電電池パック	WX-BH500	
イヤホン	WX-RZ900	ケーブル長 500 mmタイプ、6個入り
	WX-RZ901	ケーブル長 1000 mmタイプ、6個入り
オープンエアイヤホン	WX-RZ911	ケーブル長 1000 mmタイプ、6個入り

# 安全上のご注意



必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 <b>警告</b>	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 <b>注意</b>	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。  
(下記は絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

## 警告

### ■分解しない、改造しない



火災や感電の原因となります。

分解禁止

●修理や点検は、販売店にご連絡ください。

## 注意

### ■電池は極性(プラス⊕とマイナス⊖)を正しく入れる



火災や感電の原因となります。

## 使用上のお願い

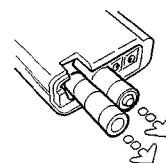
### 取り扱いを怠らないに

落としたり、物に当たったりしないでください。



### 使用後は

長時間(2週間以上)使用しないときは、乾電池を取り出してください。



### 水は禁物

水に濡れた場合はすぐに電源スイッチを切り、乾いた布でふいてください。



### 乾電池は正しく使う

乾電池は使い方を誤ると、電池の液漏れで商品が腐食したり、電池が破裂する恐れがあります。

充電、ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。



### 放置しない

アンプの上など、温度の高いところや湿度の高いところには置かないでください。



## 上手にお使いいただくために

### 雑音のない、きれいな音で聞くには

本機とワイヤレスマイクの距離は、屋外で約40 m、屋内で約20 mまで離してご使用になれます。

使用距離は、ワイヤレスマイクロホンWX-T3400の使用場所、周囲の障害物により低下します。

ワイヤレスマイクと本機は、相互に見やすい位置で使用してください。

雑音が多いときは、次の点にご注意ください。

・極力ワイヤレスマイクに近づけてご使用ください。そのときの距離は、2~10 mにしてください。

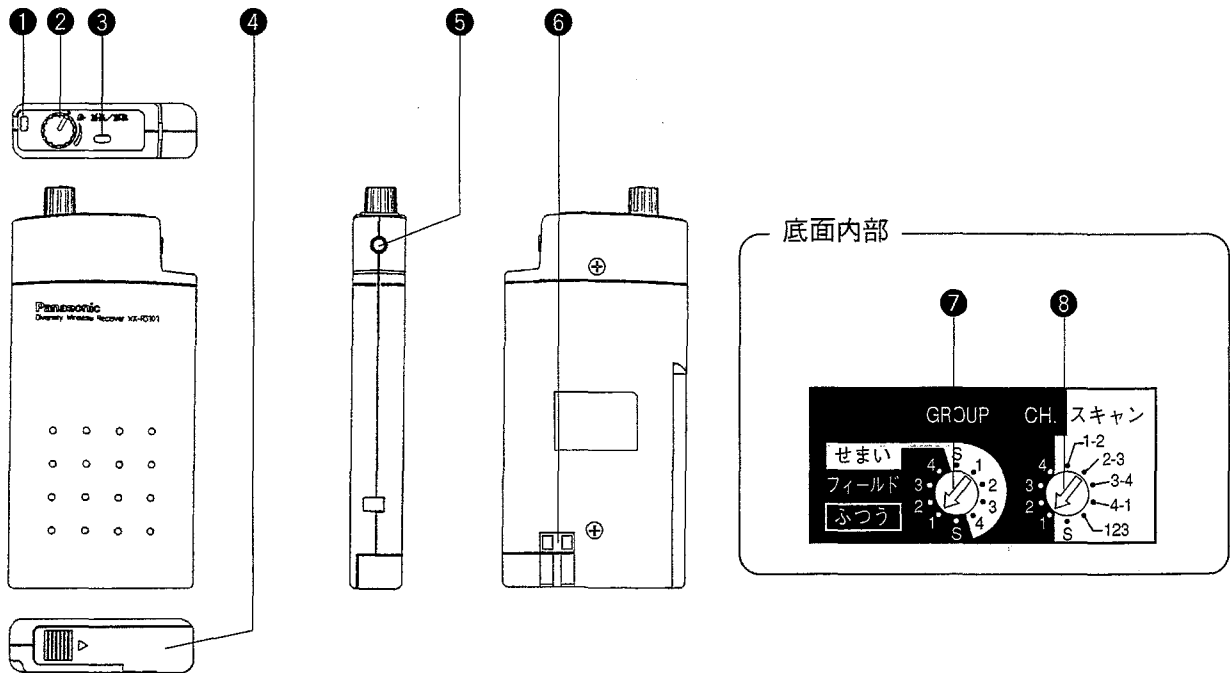
なお、ワイヤレスマイクから1 m以内に近づきますと、使用していないチャンネルへの飛び込みや混信など、誤動作することがあります。

・本機やワイヤレスマイクは、デジタル機器や高周波雑音のする機器などからできるだけ離して設置してください。(5 m以上)

### 本体の収納について

本体は、胸のポケットなどに入れてご使用ください。ポケットに金属物等が入っていると、電波が弱くなり雑音を発生することがありますのでご注意ください。

# 各部の名前と働き

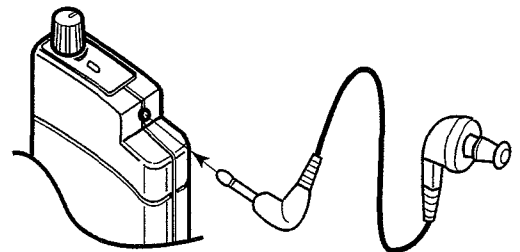


- ① ハンドストラップ用穴
- ② 電源スイッチ/音量調整つまみ [電源/音量]  
電源の入/切と、音量を調整するつまみです。
- ③ 電源/受信表示灯(赤/緑)  
電源「入」時：赤色に点灯  
電池消耗時：赤色点滅  
受信時：緑色に点灯
- ④ 電池カバー  
乾電池または充電電池パックを装着する場合および周波数設定を行う場合に、このカバーを外します。
- ⑤ イヤホンジャック  
別売のイヤホンを接続します。
- ⑥ 充電端子  
充電電池パック WX-BH500(別売品)を装着した場合です。
- ⑦ グループ・フィールドスイッチ [GROUP]  
周波数のグループとフィールドを設定するスイッチです。
- ⑧ チャンネル・スキャンスイッチ [CH.スキャン]  
固定のチャンネルとスキャンモードを設定するスイッチです。

## イヤホンの取り付けかた

別売のイヤホン WX-RZ900(ケーブル長500 mm)・WX-RZ901(ケーブル長1000 mm)または、WX-RZ911(オープンエアタイプ(ケーブル長1000 mm))をご使用ください。

- 1 音量調整つまみを最小にする
- 2 イヤホンプラグをイヤホンジャックに差し込む
- 3 大・中・小のイヤチップから合うものを選ぶ



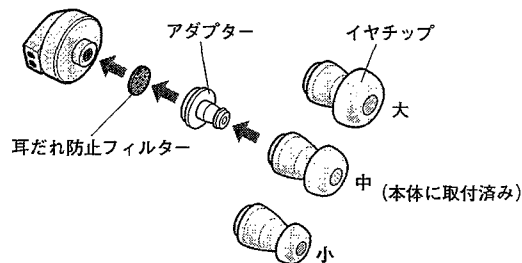
お願い

- ・必ず音量調整つまみを最小にしてからイヤホンを耳に装着してください。装着後、適切な音量に合わせます。
- ・WX-RZ900, WX-RZ901, WX-RZ911以外のイヤホンを使用する場合は、インピーダンス16 Ω以上のモノラルプラグタイプを使用してください。ただし他のイヤホンを使用した場合、適切な音質にならない場合や、電池寿命が低下する場合があります。

## イヤチップについて

イヤホンWX-RZ900、RZ901（別売品）をご使用の場合は、付属の3種類のイヤチップから、耳にいちばん合うものをお選びください。

- ・イヤチップの汚れがひどいときは、せっけん水やぬるま湯で洗ってください。
- ・耳だれ防止フィルターが汚れたときは、新しいものと交換してください。



# 周波数設定のしかた

- 本機とワイヤレスマイク WX-T3400(別売品)は、同じ周波数に設定してください。
- 同時に使用するマイクは、グループを全て同じにし、チャンネルは全て違うチャンネルに設定してください。

## ■周波数を設定する(固定チャンネルで使用する場合)

1 電源スイッチを「切」にする

2 電池カバーを外し、電池を取り出す

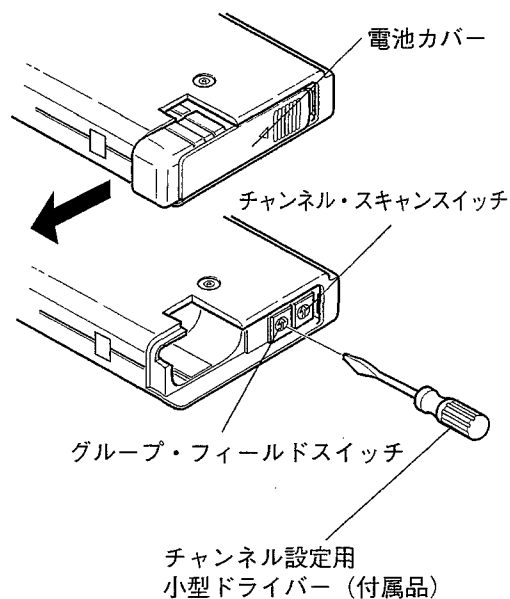
3 グループを設定する

チャンネル設定用小型ドライバーを使い、グループスイッチの「 $\cup$ 」を送信機のグループと同じ数字にあわせます。使用するフィールドに合わせて「ふつう」「せまい」のいずれかの数字にします。通常は「ふつう」で使用します。

4 チャンネルを設定する

チャンネル設定用小型ドライバーを使い、チャンネルスイッチの「 $\cup$ 」を送信機のチャンネルと同じ数字にあわせます。固定チャンネルで使用する場合は「黒地」側の数字にあわせます。

※グループ "4" は、1チャンネルのみです。



5 電池を装着し、電池カバーを取り付ける

メモ

送信周波数表(⇒9ページ参照)にないグループ・チャンネルに設定すると正常に動作しません。この場合電源スイッチを「入」にすると、電源表示灯(赤)は早い点滅をします。そのままの状態にしますと、乾電池は消耗します。

# 周波数設定のしかた

## ■グループについて

- 同一場所で、複数のマイクを同時に使用する場合は  
1つのグループに統一します。(グループ1~4の中から1つのグループを選びます。)  
・グループ1~3の中から1つのグループを選んでシステムを組めば、最大4波まで使用できます。  
・グループ4は1波のみ使用できます。
- Panasonic拡声ワイヤレスシステム(WX-1500シリーズ)と同一空間で使用する場合は  
本機とWX-1500シリーズを、1つのグループに統一します。  
・たとえばグループ1を使用する場合、チャンネル1,2をWX-1500シリーズに、チャンネル3,4を本ワイヤレスシステムに設定します。WX-1500シリーズをグループ1に設定し、本ワイヤレスシステムをグループ2に設定して使用することはできません。  
・また、ワイヤレスマイクWX-1500,WX-1600はトーン周波数が異なるため、本機で受信することはできません。

## ■スキャン機能の使いかた

### ●グループ内チャンネルをスキャンする場合

スキャンするチャンネル数を選択できます。

- 1.グループ・フィールドスイッチで運用するグループを設定しておきます。
- 2.運用するチャンネル数に合わせて、チャンネル・スキャンスイッチで設定します。

**固定チャンネル**  
1, 2, 3, 4 の通常の固定チャンネルです。  
スキャン機能は、動作しません。

**スキャン機能**  
グループ設定したチャンネルを繰り返しスキャンします。  
受信すると電源/受信表示灯が緑色に変わりスキャンは停止します。  
また、受信待機状態になると、赤色に変わり再びスキャンを繰り返します。

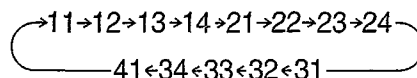
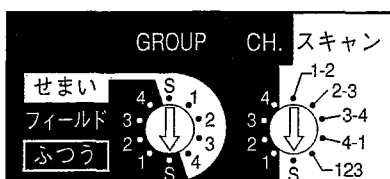
1-2, 2-3, 3-4, 4-1  
..... 2チャンネルスキャンを繰り返します。

1 2 3 ..... 3チャンネルスキャンを繰り返します。

S ..... 4チャンネルスキャンを繰り返します。

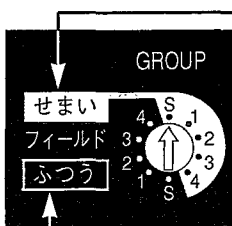
### ●全グループ、全チャンネルをスキャンする場合

グループ・フィールドスイッチとチャンネル・スキャンスイッチの「S」に合わせます。  
受信すると電源/受信表示灯が緑色に変わりスキャンは停止します。



### ●スキャンするフィールドを選択できます

せまいフィールドでは、受信感度を抑えることにより、より低雑音でスキャン運用できます。  
グループ・フィールドスイッチで運用するフィールドを設定します。



- ・フィールド せまい  
送信機相互の距離が短い場合、使用するフィールドがせまい場合のポジションです。  
受信感度を抑えてチャンネルスキャンします。
- ・フィールド ふつう  
通常は、このポジションでご使用ください。

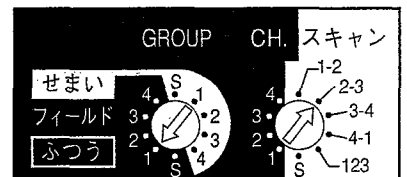
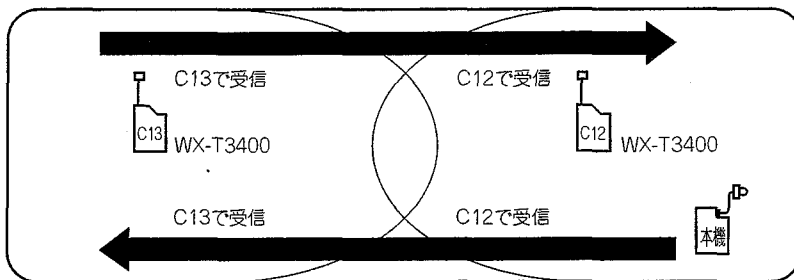
## ■ スキャン運用例

※下記の運用例は、グループ1の場合の運用例です。

### ● 2チャンネルスキャンの場合

グループ・フィールドスイッチの設定……1 (または2, 3のいずれか)

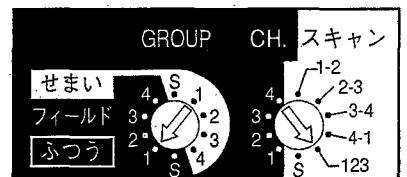
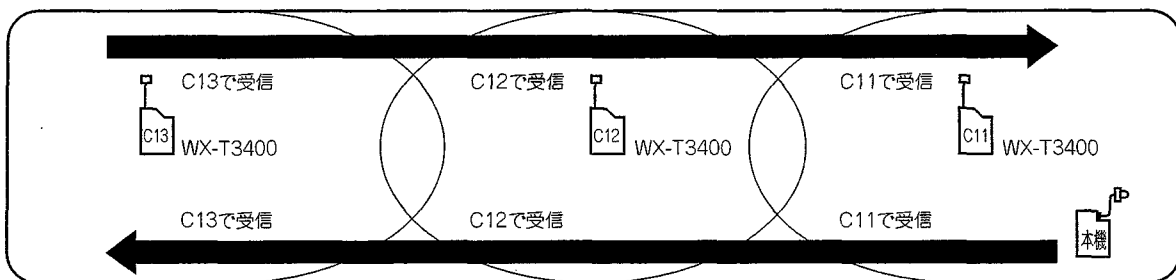
チャンネル・スキャンスイッチの設定……2-3 (または1-2, 3-4, 4-1のいずれか)



### ● 3チャンネルスキャンの場合

グループ・フィールドスイッチの設定……1 (または2, 3のいずれか)

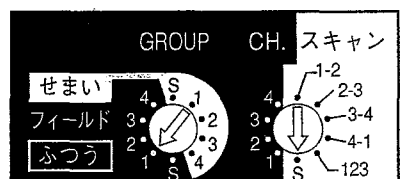
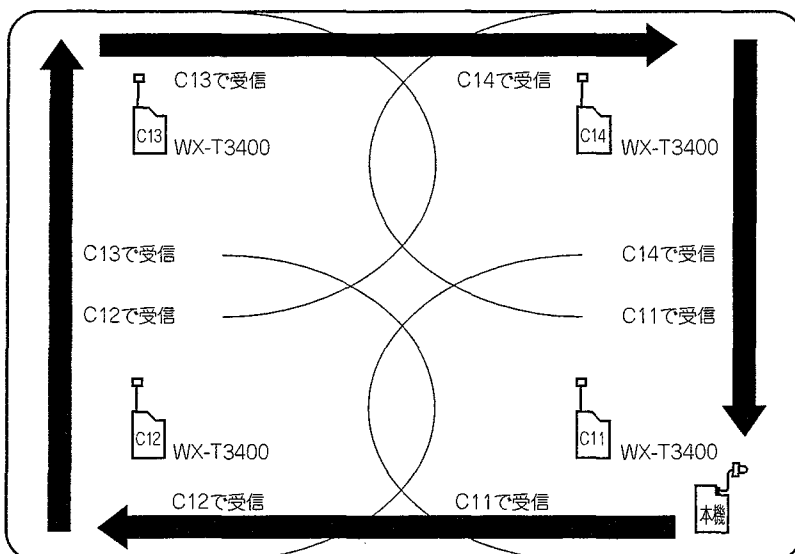
チャンネル・スキャンスイッチの設定……1 2 3



### ● 4チャンネルスキャンの場合

グループ・フィールドスイッチの設定……1 (または2, 3のいずれか)

チャンネル・スキャンスイッチの設定……S



# 充電式電池・乾電池の装着のしかた

- 充電式電池は、必ず専用の充電電池パックWX-BH500(別売品)をご使用ください。
- 乾電池は、単4形アルカリ乾電池(別売品)をご使用ください。

## ■充電式電池を装着する

### 1 電池カバーを外す

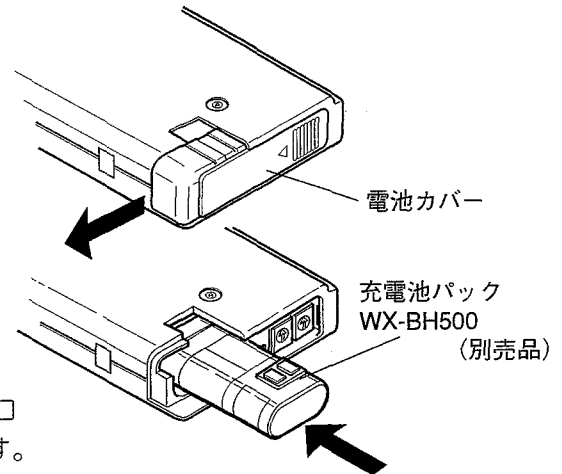
### 2 充電電池パックを装着する

専用の充電電池パックを装着します。

### 3 電池カバーを取り付ける

### 4 充電するときは

専用の充電器 WX-BC600(別売品)のマイク(受信機)差込口に充電部を下にして入れます。約8時間で充電が完了します。詳しくは、充電器の取扱説明書をご覧ください。



#### 充電について

- ・充電は、できる限りワイヤレス受信機の電源表示灯(赤)が点滅してから行ってください。点滅前の充電を繰り返すと、ワイヤレス受信機の使用時間が短くなる場合があります。(メモリー効果)
- ・メモリー効果が発生したら、ワイヤレス受信機の電源表示灯(赤)が点滅するまで使用してから充電してください。
- ・初めて使用する場合や、長い間(1カ月以上)使用していなかった場合は、必ず充電を行ってから使用してください。
- ・電源表示灯(赤)が点灯していても、電池が放電しきる直前に電波の到達距離が短くなる場合があります。そのようなときは、早めに充電を行ってください。

## ■乾電池を装着する

### 1 電池カバーを外す

### 2 乾電池を装着する

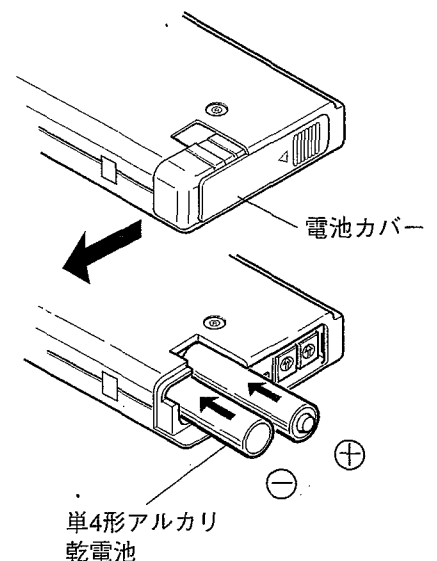
単4形アルカリ乾電池2本を、 $\oplus$  $\ominus$ の向きを間違えないように装着します。

### 3 電池カバーを取り付ける

### 4 乾電池の確認をする

電源スイッチを「入」にし、電源表示灯(赤)が点灯することを確認します。点滅する場合は、2本とも新品の乾電池に交換してください。

※乾電池を交換するときは、必ず2本同時に行ってください。





# 仕様

## ●仕様

受信周波数	322.025 MHz ~ 322.150 MHz、 322.250 MHz ~ 322.400 MHz (25 kHz間隔 13波中1波)
受信方式	PLL制御スーパーヘテロダインアンテナダイバシティ受信
受信感度	40 dB以上 (12 dB $\mu$ V 入力、 $\pm$ 2.25 kHz FMにて)
スケルチ感度	7 dB $\mu$ V
イヤホン出力	10 mW (32 $\Omega$ 5%ひずみにて)
周波数特性	150 Hz ~ 5 kHz (1 kHz基準 330 $\mu$ secエンファシス)
付属機能	スキャンチャンネル選択、フィールド選択
使用電池	充電電池パック WX-BH500 $\times$ 1(2.4 V) または 単4形乾電池(LR03) $\times$ 2(3 V)
消費電流	30 mA (充電電池パック使用、イヤホン出力1 mWにて)
電池寿命	約15時間 (イヤホン出力1 mWにて充電電池パック常温連続使用時)
使用温度範囲	0° C ~ +40° C
寸法	56 (幅) $\times$ 112.5 (長さ) $\times$ 16 (厚さ) mm (突起部含まず)
質量	約90 g (充電電池パック含む)
仕上げ	ストーンシルバーメタリック色樹脂 (マンセルN4.5近似色)

## ●送信周波数表

周波数(MHz)	グループ			
	1	2	3	4
322.025			C31	
322.050	C11			
322.075		C21		
322.100	C12			
322.125		C22		
322.150			C32	
322.250	C13			
322.275		C23		
322.300				C41
322.325			C33	
322.350	C14			
322.375		C24		
322.400			C34	

# 保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・  
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

## ■保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。  
よくお読みのあと保存してください。

保証期間：お買い上げ日から1年間

## ■修理を依頼される時

まず電源を切ってから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

### ●保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、  
製品に保証書を添えてご持参ください。

### ●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。  
ただし、ワイヤレス受信機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。  
注)補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### ●修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

**技術料**は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

**部品代**は、修理に使用した部品および補助材料代です。

**出張料**は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品番	WX-R3101
	販売店名	☎ ( ) -				

松下電器産業株式会社

AV&セキュリティビジネスユニット

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号 電話 フリーダイヤル 0120-878-410